



8月保健だより

平成 29 年 8 月 7 日 八千代保育園

セミの声に負けなくらい、元気いっぱいの子どもたち。

子どもたちにとっては、お楽しみの行事が多いこの季節。みんなで楽しく過ごしていきたくと思います。

子どもの体は 80%が水分。大人より汗をかきやすいため、脱水症状・熱中症の危険性も高いので、気にかけていただけますと幸いです。

- 戸外へ出掛ける前後に必ず水分補給を。
- 常温か少し冷たいくらいの水分を飲む。
- ジュースではなくお茶か水を。

正しく水分補給を行い、脱水症状・熱中症を防いでいきましょう。

区内では手足口病が流行しています。他にもアデノウィルスやヘルパンギーナ、プール熱など夏風邪の罹患報告に加え、今年は季節外れのRSウィルスの報告も上がるようになっていきます。

保育園でも、子どもたちの体調に変化がないか注意深く見守っていきます。ご家庭で「おや？」と思うことがあれば、連絡帳や口頭で担任にもお伝えください。よろしく願いいたします。

8月の保健行事

日程	内容
8月 8日(火)	身体測定 : ひよこ組(0歳)・うさぎ組(1歳)
8月 9日(水)	身体測定 : ぱんだ組(2歳)・きりん組(3歳) ぞう組(4歳)・らいおん組(5歳)
8月25日(金)	0歳児健康診断: 内海園医

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

とびひ

アトピーやあせも、虫刺されなどを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。



患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がります。ガーゼなどで覆って、患部に直接触れないようにしましょう。状態がひどい場合は医療機関に相談し、内服の抗生物質を処方してもらいます。子ども間で感染しやすいので、家庭でもタオルの共有や、兄弟との入浴は控えましょう。虫刺されやすり傷などは放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法となります。